

現職者対象・臨床栄養研修

- 研修地:** カリフォルニア州ロサンゼルス近郊
- 対象:** 医療食品開発担当者、営業・マーケティング担当者、管理栄養士、薬剤師、など



✓ 研修内容 (ニーズに合わせてカスタマイズ可、裏面のサンプルスケジュール参照)

管理栄養士とのディスカッション

多職種チームの回診にも加わり、積極的に患者の治療計画に介入している臨床管理栄養士から、経管・経腸栄養療法の実際を聞きます。栄養療法のプラン作成時、どのような製品を管理栄養士が求めているか等、現場の声を聞き今後の製品開発のヒントを探ります。

❖ アメリカの安全保障規定から新製品のアイデアを見出す

行政機関からの監査が厳しいアメリカでは、医療機器メーカーに管理栄養士が勤務し、施設や病院の医療従事者の為に監査対策の教育サービスを提供しています。ポンプへのコネクターも頻りに規制が変わり、より安全なデザインとなっています。多種の医療機器を扱う医療機器会社や在宅輸液薬局から、最新の製品や機器の安全保障対策のヒントに役立ちます。

- ❖ 急性期病院から日本の療養型病院に類似した施設での研修を通し、様々な疾患や回復段階における臨床栄養療法の実際を学んでいただきます。

✓ 「ここが違う！」ミレニアのアメリカ医療研修

① 職人技コーディネーター

長年の医療研修実績から培ったノウハウで、お客様の研修希望内容をしっかり把握し、講師や視察現場スタッフと何度も事前に打ち合わせ、万全に準備します。

② とにかくわかりやすい！通訳

日米の医療現場を熟知し、インタビュー能力の優れたプロだからこそできる通訳。米国人現場スタッフと自由に意思疎通ができるから、ストレスがありません。



✓ 過去の研修参加者のコメント

米国では経管栄養はボラスでの投与頻度が高いなど、日本との違いをよく理解できた。長期ENに対する考えの違いや米国の保険制度が病院や施設のあり方に大きく影響していることを学んだ。日米相違はあるが、米国の先進的な考えを聞け、大変有意義な研修であった。

(大手医療・介護食品製造会社 管理栄養士)

✓ サンプル・スケジュール

	午前	午後
1	<p>講義</p> <p>◆ 米国医療制度概要</p> <ul style="list-style-type: none"> - 各医療サービスと患者の流れ・日米比較 (総合病院、専門病院、専門外来、在宅医療、高齢者施設、専門外来、専門病院、薬局などの相互の関わり、など) - 在院日数短縮等の医療システム変換 - 医療保険制度と近年の医療保険改革 (公的医療保険・民間医療保険) 	<p>現場視察① 在宅輸液ファーマシー</p> <p>◆ 現場視察 (薬剤師勤務エリア、無菌調剤室、在庫管理室、など)</p> <p>◆ 管理者との面談(トピック例)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 経管栄養・経腸栄養製品の概要 - 使用量 - 栄養管理療法の最新トピックス - EN メーカーと病院・施設とのコミュニケーション - 薬局の経管栄養製品のブランド変更 - 在宅輸液薬局で扱っている経管栄養製品の紹介とトレンド - 製品最新情報や知識・スキルの付け方
2	<p>現場視察② 大手急性期病院</p> <p>◆ 病棟視察及び看護管理者との面談 (トピック例)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 経管栄養及び経腸栄養患者の看護ケア - 医師、管理栄養士、薬剤師との相互連携 - 病棟での口腔ケアの現状 <p>◆ 厨房見学</p> <p>◆ 臨床管理栄養士(管理者)との面談(トピック例)</p> <ul style="list-style-type: none"> - オペレーション概要と管理栄養士の権限 - 経腸栄養を開始するまでのプロセス - 入院後の初期アセスメントや介入のタイミング - 流動食の選択、使用法、組み合わせ - PEG 仕様状況、経口 VS 経腸の割合や判断基準 - 医療現場での人工栄養に対する考え方 - スキルや情報のアップデート、メーカーからの情報提供 - 経口製品使用状況 <p>◆ 言語療法士との面談</p> <ul style="list-style-type: none"> - 嚥下困難な患者に対する ST の関わり、評価の実際 - 管理栄養士や看護師との連携 	<p>現場視察③ リハビリ専門病院</p> <p>◆ ICU・脳卒中病棟視察及び看護管理者との面談 (経管・経腸栄養患者のケア、医師・管理栄養士・薬剤師との連携、など)</p> <p>◆ 言語療法士との面談</p> <ul style="list-style-type: none"> - 経管から経口への移行 - 嚥下機能評価項目と判断基準 - 嚥下訓練の実際 <p>◆ 臨床管理栄養士(管理者)との面談 (トピック例)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 患者栄養管理の実際(補助的経管栄養、栄養投与プロトコル) - 脳疾患・脳卒中後患者の栄養管理の考え方 - 流動食・トロミ製品の使用、選択基準と組み合わせ - 早期経口摂取の推進状況 - 経口補助食品の使用状況、選択基準やニーズ、財形 - 流動食メーカーの情報提供手法とその内容、マーケ方法 - 購入量や購買の流れ <p>◆ 厨房見学</p>
3	<p>現場視察④ 在宅医療機器会社</p> <p>◆ 会社内見学 (製品在庫管理室、搬出エリアなど)</p> <p>◆ 管理者との面談(トピック例)</p> <ul style="list-style-type: none"> - サービス概要、提供地域範囲、顧客層 - 経管・経腸製品の在庫管理 - 病院・施設に対する監査対策サービス - 使用後の機器の取り扱い及び故障時の対応 - EN メーカーと病院・施設とのコミュニケーション - 扱っている経腸栄養製品の紹介とトレンド、など <p>◆ 自社製品紹介と意見交換、ディスカッション</p>	<p>現場視察④ 総合シニア施設</p> <p>◆ シニア食メニューの実食体験</p> <p>◆ 施設内見学 (高齢者ホーム、介護施設、ナーシングホーム、認知症ユニット、食堂エリア、在庫管理室)</p> <p>◆ 自社製品紹介と意見交換、ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> - 施設内における栄養管理の実際(人口栄養に対する考え方、入居者家族の理解、栄養とリハビリ、嚥下評価、嚥下困難な患者への対応、食事形態のステップアップ) - 経口補助食品(使用状況、使用方法、選択基準やニーズ、売れ筋製品、財形) - EN メーカーと関わり(訪問頻度、活動内容、栄養ツールなど) <p>◆ 研修のまとめ</p> <p>◆ アメリカ 臨床栄養研修 修了書の授与</p>

視察先の事情により、研修先・内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

作成：ミレニア・エデュケーション Copyright © Millennia Education 2018 本紙の無断複写・改造を禁止します。

>> お問い合わせ

ミレニア・エデュケーション
MILLENNIA EDUCATION
info@iryu-kenshu.com